

250402 0404 理事会 18 別紙 第1号議案 08 250316 大規模断水事故の理事の認識について（公開）

令和7年2月大規模断水事故について理事の認識

- 理事丸山ら4理事は回答せず
- 副代表理事山上ら4理事は責任回避

2月19日からほぼ1週間、S地区、X地区を除く全地区的広範囲に渡り断水事故が発生しました。断水の地区は、山庄の利用ができず、常駐者の方は不自由な生活を強いられました。このような異常事態において「適正な復旧対応がなされたのか、甚だ疑問である、」と多くの会員から厳しい意見が届いています。

会員の皆様にボランティア活動を依頼し復旧作業しているのにかかわらず、理事が協力せず、まるで他人事のように見ている、認識していたのではないか。

このような未熟な対応となったことについて、理事の認識について照会し、回答を得ましたのでこれを公開します。

意識調査（照会）

令和7年3月4日

理事、監事の皆様

一般社団法人播磨自然高原クラブ
代表理事 岡庭 晋司

大規模断水事故について（照会）

この度、2/19 発生の火災消火活動が原因と思われる、これまでに経験ない大規模な断水事故が起こった。断水は、2/19 から 2/28 の長期間に渡り、S 地区、X 地区を除く全地区の広範囲に渡った。

断水の地区は、山荘の利用ができず、常駐者の方々は不自由な生活を強いられた。このような異常事態において「適正な復旧対応がなされたのか、甚だ疑問である、」と多くの会員からの厳しい意見と復旧に何ら行動することのなかつた理事に対して厳しい声が届いている。

当職が承知している限り、会員の皆様にボランティア活動を依頼し復旧作業に尽力をいただいたにも関わらず、一人を除いて理事が全く協力せず、まるで他人事のように見ており、認識できていなかったとの弁は通用しない。恥ずかしい程の未熟かつ稚拙な対応実態のみであった。

今回の断水事故を経験として、復旧に時間を要した原因、断水の範囲が広範囲に渡った原因を徹底的に調査し、有効な対策を講じ再発防止に道筋を立てなければならない。同じ事故は再度起る、それを未然に防ぐのが、代表理事は言うに及ばず理事全員の責務と責任である。

とりわけ、理事は高原クラブの運営に携わる立場であり、その理事が今回の大規模断水事態に接し、どのような認識を持ち、どのような行動を取ったのか、調査しなければならないことは必定である。

今回の断水事故発生時に各理事が取った行動を尋ねる。併せて、以下の課題について、各理事の考え方を明示いただきたい。

なお、照会事項は、3月12日の理事会で報告するので3月10日期限で提出されたい（返信封筒を同封する）。さらに、照会事項は、会員の皆様への公開が必然であることを申し添える。

記

1. 管理体制の問題

業務執行の決定をすべき、理事会が機能を失っている。

理事に緊急時との認識があったのか？

代表理事や従業員に緊急対応を丸投げしているのではないか？

2. 施設、設備の問題

耐用年数を超過した、老朽化施設がほとんどである。いつまで持たせるつもりなのか？

有効率が 20%、上郡町から購入の水道水の 80%は漏水、危険だと認識あるのか？

3. 経費の問題

営利部門は毎年赤字、改築更新の費用基金が溜まっていない。費用負担の公平性が崩れている。

理事は何ら対策を講じようとしない、対策が必要だと認識がないのではないか？

副代表理事 山上直也の回答 1/2

一般社団法人 播磨自然高原クラブ
代表理事 岡庭 晋司 様

令和7年3月10日

山上 直也

大規模断水事故についての照会への回答

1 管理体制の問題

現理事会の機能不全があるとすれば、正式な手続きを経て開催された理事会の決議を無視し、また理事会での円滑な議事進行を妨げるかのような代表理事の行動に起因した、他理事達の代表理事に対する不信感によるものであると考えています。

昨年にも発生した山荘全焼の際には今回のような大規模な断水は発生しておらず、その後の理事会に於いても代表理事よりその件について言及も更なる問題提起もされておりません。

今回も代表理事から各理事に協力の依頼、指示に及ぼず、緊急連絡すらいただいておりません。そもそも当高原クラブに於いて、今回のような緊急時における対応マニュアルの作成もされていないことから、今後 会員の皆様の安心のために早急に対策を講じることが理事会の急務であろうと思います。

2,3 施設、設備、経費の問題

昨年の理事会において、努力によって大きく漏水率を低下させることができ、経費は大幅な黒字化を達成できたと代表理事から説明を受けました。

ただそれも一時的であり、現時点での施設の老朽化は否めない状況であることから、中長期計画による対応は必須であると考えます。それには莫大な費用がかかることが想定され、そのための基金の創設にあたっては、当然会員の皆様のご理解を得ることから始めなくてはなりません。丁寧な説明と納得がいくような基金の金額の裏付けとなる合理性が求められます。

副代表理事　山上直也の回答 2/2

外部から水道設備管理の専門家にも参加してもらい、費用を抑える方法の検討も必要となるでしょうが、多大な費用の透明性のある管理のためには、従来の会計とは別に独立した特別会計として運営し、各期に会員への説明報告を義務化していただきたいと思います。

特命理事 壱坂哲男の回答

令和7年3月7日

代表理事 岡庭 晋司様

壱坂 哲男

大規模断水事故についての回答

1. 管理体制の問題

業務執行の決定すべき、理事会が機能を失っている。

丸山氏側のボイコットに始まり、その後の傍聴者との混乱。

代表の、私たち理事との連絡手段の一方的の拒絶（電話、メール、LINE等）

代表は、透明性の確保と称し傍聴者を入れ正常な理事会を阻止していた。

この状況下では理事会が正常運営されない、代表の意識行動を変えない限り、無理である。

理事に緊急時との認識があったか？

代表は緊急時に際し、各理事に事務所を通じてでも連絡すらしなかった。

特に、私の様な山荘を持たない理事は、緊急事態の状況を知る手段がない。

この件に関しても、代表の責任は重い。

代表理事や従業員に緊急対応を丸投げしているのではないか？

代表が理事各位に連絡もせず、理事に対し何もしなかった、緊急時には各理事に協力要請し対応するのが代表の責務では。

2. 施設、設備の問題

耐用年数を超過した、老朽化施設がほとんどである。いつまで持たせるつもりなのか？

黒兼氏から引き継いだ時点で、老朽化施設は認知していた。

「いつまで持たせるつもりなのか」この言葉は代表にお返します、よく言いますね。

それを放置していた責任は、歴代代表理事の責任である。

有収率が20%、上郡町からの購入の水道水の80%は漏水、危険だと認識はあるのか？

有収率が20%は引き継いだ時から認識はしていた。

漏水については、水質維持も含まれる事も。

漏水、ポンプの修理等、維持管理のみで施設の更新を議論しなかったことには反省している。

3. 経費の問題

営利部門は毎年赤字、改築更新の費用基金が溜まっていない。費用負担の公平性が崩れている。

これも、歴代理事の責任であると認識する。

理事は何ら対策を講じようとしている。対策が必要だと認識がないのではないか？

代表としての認識は？ 率先して理事会を開催し対策を講じるのが代表ではないか。

この照会に関して、岡庭代表から出ること自体が納得できない、代表としての責任を問います。

以上

理事 仁木島清子の回答

要回答の文書を受け取り、驚いております。山莊の
前略
私は、三年ほど前から実母・義母・伯父の介護が必要となり、山莊の
維持が不可能になりました。そうした事情を園庭代表に話したうえ
受け取った辞任届けに記入、提出。二〇二三年三月十二日はて受領印を
いたしております。その後は社員総会で正式に報告していただきを
待つ山莊を売却。ところが理事会内部分裂が激化を増し、社員
総会は開かれないまま。播磨自然高原クラブから私宛り封書を受け取る
以外、高原の内情につきの詳細は存じられません。ただ辞任前後に高
原内水道管の老朽化についてのトラブルを耳にしてつたので、日本国内で
水道管を巡る事故が報道される度に、高原内の心配をしておりました。
二月十九日の火災から「断水」の件は、今朝の園庭さんからの書面で初めて
知った次第です。一日も早く社員総会を開き、私よりよろしくばかりの
理事を早刻解任し、熱意ある新理事にバトンをお渡しいたします。
私利私欲ではなく、生活の場として高原に住まわれ、高原の為に理事業務を行いたいと思つておられる方々お力を發揮していただきたいです。どうぞ宜しく
お願ひ申しあげます。

二〇二五年三月七日 仁木島清子